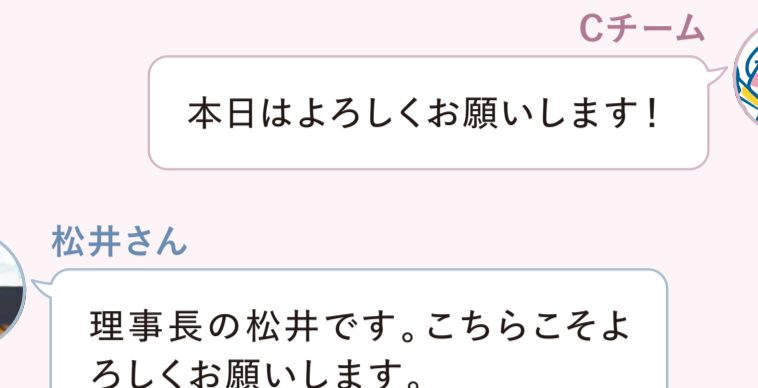


仕事もプライベートも充実した秋田ライフを送りたい。学園のメンバーが人生の『パイセン』に、仕事のこと、プライベートのこと、何でも聞いてみました!

社会福祉法人羽後町保育会

今回サキホコレ学園Cチームが訪れたのは、育児世帯の交流の場、羽後町保育会・子育て支援センター。ここで働く先輩はどんな仕事をして、どんなライフスタイルを送っているのでしょうか。話を聞くため、レトロかわいい外観が印象的な建物へ突撃します!

今回のパイセン



近野さん

Cチーム

本日はよろしくお願いします!

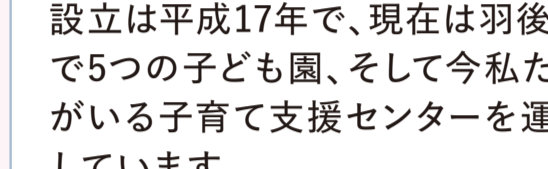


松井さん

理事長の松井です。こちらこそよろしくお願いします。

近野さん

羽後町子育て支援センター保育教諭の近野です。よろしくお願いします。



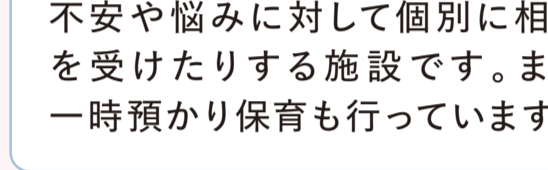
Cチーム

最初に、羽後町保育会について教えてください。



松井さん

設立は平成17年で、現在は羽後町で5つの子ども園、そして今私たちがいる子育て支援センターを運営しています。



Cチーム

ここはどういう施設なんですか?



松井さん

子育て中の方が集まって育児に関する情報を共有したり、親子で楽しく遊んだり、子育て世帯の不安や悩みに対して個別に相談を受けたりする施設です。また一時預かり保育も行っています。

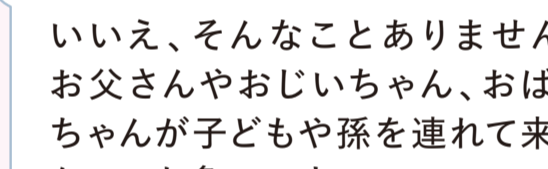
Cチーム

そうなんです!1日の利用者数はどれくらいですか?



近野さん

日によってばらつきがありますが、概ね10組以内です。最近は羽後町だけでなく町外から訪れる方、仕事や結婚で移住してきた方がつながりを求めてやって来るケースが増えています。



Cチーム

移住したての人は何かと心細いですがんね。



近野さん

なので子育て支援センターでは、心細さを感じているお母さんたちをフォローするため、お母さん同士をつなげる橋渡しのようなこともしています。



Cチーム

ここを利用する保護者は、ほとんどお母さんですか?



近野さん

いいえ、そんなことはありません。お父さんやおじいちゃん、おばあちゃんが子どもや孫を連れて来るケースも多いです。

Cチーム

ところで、近野さんが保育の道を選んだ理由は何ですか?



近野さん

子どもの頃、母によく6つ歳下の弟の世話を手伝わされていたんです。それが楽しくて。母も保育士なので、知らず知らずのうちにこの道へ引っ張られていたのかもしれない。

Cチーム

なるほど。ちなみに県外での就職を考えたことはなかったですか?

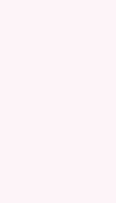


近野さん

何度か都会に出てみようかと考えたことはあります。だけど慣れない土地でくたびれてしまう自分を想像してしまったのと、親しい友人は県内に残る人が多かったという理由で秋田に残ることにしました。

Cチーム

そうなんです。数ある保育施設の中からここを選んだのはどうしてですか?



近野さん

以前は町外の別の保育園で働いていたのですが、結婚して、4回出産して、4人の子どもたちを育てる暮らしの中で、勤務先を求めるものがお給料からお休みの取りやすさへと変わっていったんです。そのときちょうど、羽後町保育会の求人を見て。有休はもちろん、保育園に入っている子ども一人につき5日の看護休暇を取れるという点に魅力を感じました。うちは4人の子どもが順番に風邪をひいたときか本当に大変なので……。

Cチーム

転職後、気持ちの面で何か変化はありましたか?



近野さん

家から職場までの距離が近くなったので、時間に余裕を持てるようになりました。一人で勝手にイライラすることも少なくなり、今は穏やかな気持ちで仕事と向き合えています。

Cチーム

近野さんの休日の過ごし方やリフレッシュ方法などを教えてください!



近野さん

家でゆったりネット動画を見たり、好きな花を買ってきて家の周りに植えてみたり、子どもたちが興味を持ったことに一緒に取り組んだりしています。最近子どもたちと始めたのは、ザリガニの飼育です(笑)



Cチーム

10年後こうなっていたいというビジョンはありますか?



近野さん

日々楽しく、前向きに過ごしていきたいです。私は保育園・幼稚園教諭と利用者支援の資格を持っているのですが、今後、発達支援や子育て心理アドバイザーなどの資格にも挑戦して、仕事と子育てに生かしていきたいです。



女性にとって働きやすい環境が整っている羽後町保育会なら、ワークライフバランスをとってもいい状態で保てそうです。実際、今回お話を聞いた近野さんからは、仕事とプライベートが充実している人特有のキラキラオーラが放たれていました。私もいつか近野さんみたいなお母さんになりたいな!